

## 令和4年度全国学力・学習状況調査の宇部市の結果について

### 1 調査概要

#### (1) 目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

#### (2) 調査期日 令和4年4月19日（火）

#### (3) 学校数及び対象学年（人数）

- ① 市立小学校：24校 対象学年：第6学年（1, 282名）
- ② 市立中学校：12校 対象学年：第3学年（1, 181名）

#### (4) 調査内容

- ① 教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）
  - 小学校（国語、算数、理科）
  - 中学校（国語、数学、理科）
- ② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
  - ア 児童生徒に対する調査 【小学校：75項目 中学校：75項目】
  - イ 学校に対する調査 【小学校：105項目 中学校：103項目】

### 2 調査結果

#### (1) 教科に関する結果

##### ① 全体の結果

- 小学校の結果は、国語、算数、理科で全国平均正答率を下回っている。
- 中学校の結果は、国語、数学、理科で全国平均正答率を上回っている。

小学校 平均正答率		国語	算数	理科
R4	宇部市	63	61	62
	全国	65.6	63.2	63.3
	山口県	65	63	64

中学校 平均正答率		国語	数学	理科
R4	宇部市	71	54	50
	全国	69.0	51.4	49.3
	山口県	70	52	49

※平成29年度から、都道府県等における各区分の平均正答率は整数値で提供

## ②教科ごとの結果

### 【小学校国語】

「我が国の言語文化に関する事項」の領域では、全国平均正答率と同程度だったが、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」において、全国平均正答率を下回った。

### 【小学校算数】

「数と計算」の領域で全国平均正答率を上回ったが、「図形」「変化と関係」「データの活用」の領域において、全国平均正答率を下回った。

### 【小学校理科】

「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」を柱とする領域において、全国平均正答率を下回った。

### 【中学校国語】

「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」の領域において、全国平均正答率を上回った。

### 【中学校数学】

「図形」の領域では全国平均正答率を下回り、「データの活用」の領域では全国平均正答率と同じであったが、「数と式」「関数」の領域において、全国平均正答率を上回った。

### 【中学校理科】

「エネルギー」「粒子」を柱とする領域では全国平均正答率を下回ったが、「生命」「地球」を柱とする領域では全国平均正答率を上回った。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査について

望ましい状況【全国より高い】	課題の見られる状況【全国より低い】
<p><b>【小学校】</b> ○将来の夢や目標を持っている。</p> <p>○学校で、学級の友達と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、週1回以上使っている。</p> <p><b>【中学校】</b> ○毎日、同じくらいの時刻に起きている。</p> <p>○算数・数学の授業の内容はよく分かる。</p> <p>○理科の授業の内容はよく分かる。</p> <p><b>【小中ともに】</b> ○困り事や不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。</p>	<p><b>【小学校】</b> ●平日の学校の授業時間以外で1日あたりの勉強時間（1時間以上）</p> <p><b>【中学校】</b> ●学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、週1回以上使っている。（インターネット検索など）</p> <p><b>【小中ともに】</b> ●自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている。 ●携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている。 ●土日など学校が休みの日の1日当たりの勉強時間（2時間以上）</p>